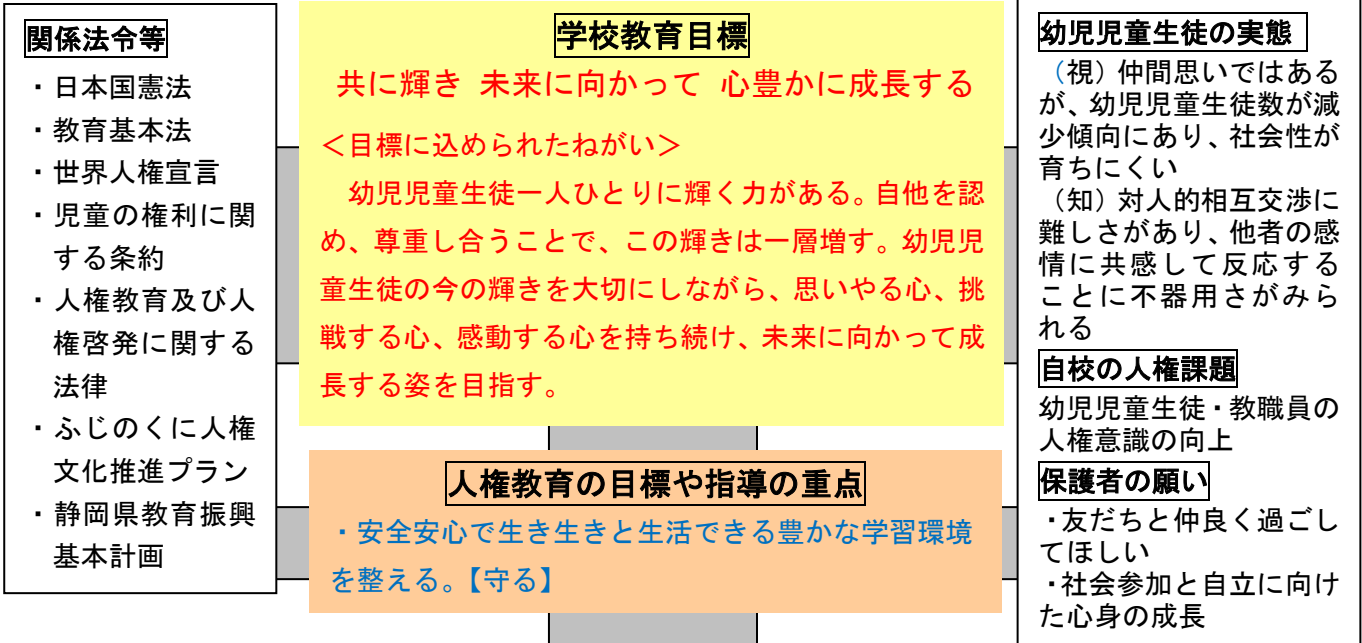


# 人権教育全体計画<静岡県立するが視覚総合特別支援学校>R8 年度



**学部目標 具現化の柱【安全・安心】**

[幼稚園部] 安心して人やものに関わることができる環境づくりをする。

[小学部] 互いの良さを大切に、明るく元気な児童を育てる。

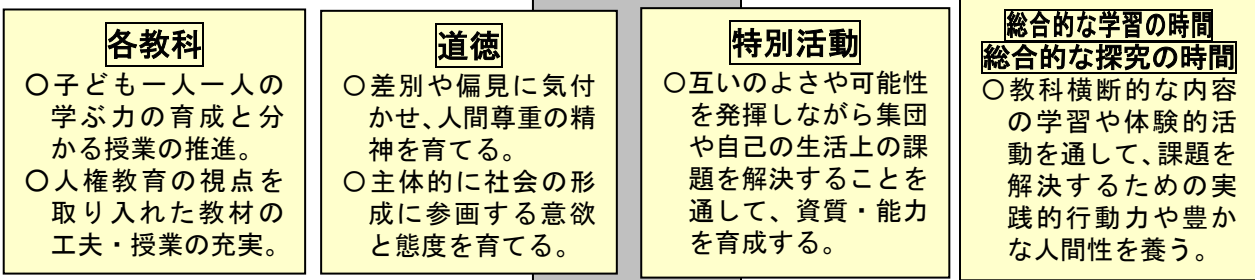
[中学部] 自己肯定感をもち、自他を認め合いながら、安心して学習できる環境をつくる。

[高等部] 視覚：生徒一人一人が安心・安全に生活および学習するための健康管理に関する指導と、学習環境の整備の推進を図る。  
知的：自己理解を深めるとともに、周りの人の良いところを認め、安心して生活できる環境を作り合う態度を育成する。

[寄宿舎] 互いの権利を尊重し、心身の健康と笑顔があふれ安心して生活できる環境をつくる。

## 各教科等における指導の重点

【全ての教育活動で人権教育を推進する】



**保育 (幼稚園部)**

- 他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。

**生活 (寄宿舎)**

- 集団生活や余暇活動を通して人との関わりを広げ、自分と相手を大切にする態度を養う。

- 幼児児童生徒への学校生活アンケートの実施。(年2回)
- 個別面談の実施。
- スクールカウンセラーの活用。
- キャリア教育の充実。

- PTAの活動や学校運営協議会との連携。
- 家庭・地域への人権教育の理解と啓発。
- 交流学习の充実。

- 人権学習会やグループワークを実施。(年2回)
- 人権感覚チェックシートを実施。(年2回)
- 人権に関する課題について掲示板を通して共有。
- 人権の手引きの活用。
- 人権委員会において人権教育全体計画の検討。

## 教職員の人権感覚の向上

生徒指導・教育相談等

地域、家庭、関係機関等との連携